

研究・調査報告書

報告書番号	担当
9	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Nonlinear relation between alcohol intake and high-density lipoprotein cholesterol level: results from the Copenhagen City Heart Study. アルコール摂取量と HDL コレステロールレベルとの非線形相関について	
執筆者	
Johansen D, Andersen PK, Jensen MK, Schnohr P, Gronbaek M; Copenhagen City Heart Study.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 2003 Aug;27(8):1305-9.	
キーワード	
アルコール、HDL コレステロール、非線形モデル	
要 旨	
<p>背景： 血中 HDL コレステロールレベルは最近のアルコール摂取量の指標として用いることが出来るとされている。しかしながら、飲酒習慣を予測する判断材料として HDL コレステロールを用いる前に、あらゆる摂取量においてアルコール摂取と HDL コレステロールの関係について検討する必要がある。アルコール摂取量と HDL コレステロールの関係には閾値効果が予想されるが、多くの研究では両者の間には線形の相関があるとしている。本研究の目的はアルコール摂取量と HDL コレステロールの間のような関連があるのか、ビール・ワイン・蒸留酒といったアルコールの種類によって HDL コレステロールへの影響は異なるのか、またそれは総アルコール摂取量で調整しても認められるのかということをはっきりとすることである。</p> <p>方法： 本研究では Copenhagen City Heart Study のデータを用い、非線形モデルのひとつである Generalized Additive Models を用いてアルコール摂取量と HDL コレステロールの関係を検討した。</p> <p>結果： アルコール摂取量と HDL コレステロールの関係には非線形的なモデルがよく当てはまり、また男女ともにおいて非線形的な関係が認められた。凹形の関連が認められ、男性では約 35 杯/週以上、女性では約 20 杯/週以上で HDL コレステロール値は不変であった。総アルコール摂取量を調整したところ、男性ではワインと HDL コレステロールの間に非線形の関連が認められた。</p> <p>結論： アルコール摂取量と HDL コレステロール値の間には凹型の関連が認められ、アルコールの HDL コレステロールに対する閾値効果を示している。男性において総アルコール摂取量を調整後にワインと HDL コレステロールの間に関連が認められたのは他の生活習慣に関する交絡因子のためと考えられる。</p>	